

さわやか土浦

第 13 号

発行

令和6年1月1日

発行所

土浦市スポーツ推進委員協議会

編集

広報部会

事務局

土浦市教育委員会スポーツ振興課内
土浦市スポーツ推進委員広報部会

TEL 029-826-1111



ご挨拶

土浦市長 安藤 真理子

明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては、令和6年の初春を健やかに迎えることと、お喜び申し上げます。

土浦市スポーツ推進委員の皆様には、日頃より、市民の体力づくりとスポーツ・レクリエーションの振興につきまして、ご支援・ご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。この度、長年のご功績により、吉田勉委員が全国スポーツ推進委員文部科学大臣表彰を受賞され、また、来栖孝委員、関山達朗委員をはじめ、5名の方が勤続表彰の栄に浴されましたことは、誠に喜ばしく、深い敬意を表すとともに、心からお祝いを申し上げます。

さて、昨年は、夏の甲子園で土浦日本大学高等学校がベスト4まで勝ち進む、大活躍をされました。全国という大舞台の中、全力でプレーする姿は、私たちに勇気と感動を与えてくれ、改めてスポーツの素晴らしさを感じたところです。

本市といたしましては、今後も、誰もが安心・安全にスポーツに親しむことができるよう、様々な事業を進めてまいりますので、皆様方には、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、スポーツ推進委員の皆様にとりまして、本年が実りある良い一年となりますことを心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



ご挨拶

土浦市教育長 入野 浩美

「さわやか土浦第13号」発行おめでとうございます。
土浦市スポーツ推進委員の皆様には、日頃より地域のスポーツ推進役としてご協力いただき誠にありがとうございます。

また、スポーツ推進委員として、長年地域スポーツの振興に尽力され、この度、全国スポーツ推進委員文部科学大臣表彰を受賞された吉田勉委員をはじめ、全国・関東・茨城県スポーツ推進委員の勤続表彰を受賞された5名の皆様におかれましては、誠にありがとうございます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症が、5月から感染症法の位置づけもインフルエンザと同様の5類に引き下げられ、4年ぶりに通常の活動に近い形で各種目の活動が進み、またひとつスポーツ活動を推進するための環境が整いつつある一年となりました。

スポーツは、心身の健全な発達に資するとともに、明るく豊かで活力の満ちた社会形成に大きく付与し、健康づくりの一翼を担うものでございます。そうした中で、スポーツ推進委員の皆様方におかれましては、地域の絆を深める活動の担い手として大きな期待が寄せられております。

今後も、地域スポーツ推進のためにご活躍されますことをお願い申し上げますとともに、皆様方の益々の健康とご活躍、ご多幸を祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



ご挨拶
会長 鈴木 清

令和5年度土浦市スポーツ推進委員協議会総会におきまして、理事の皆様方のご推挙により、会長を務めさせていただくことになりました。大役を仰せつかり身の引き締まる思いでございます。

宮本前会長におかれましては、昭和58年に旧新治村体育指導委員に就任して以降40年の永きにわたってスポーツ振興にご尽力されましたこと、深く敬意と心より感謝を表する次第であります。

さて、昨年5月から新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけが5類に引き下げられ、5年ぶりに市民体育祭や各種事業が行われました。少しずつ従来通りの姿に戻りつつある一年となり、改めてスポーツは夢や希望、そして感動を与えてくれる、かけがえのない存在であることを実感いたしました。

新会長として微力ながら土浦市のスポーツ振興のために、邁進して参りますので、委員の皆様方におかれましては、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。会長就任のご挨拶といたします。

全国スポーツ推進委員
文部科学大臣表彰



吉田 勉
(新治学園地区)

令和5年11月16日・17日、青森市のリンクステーションホール青森を会場に、第64回全国スポーツ推進委員研究協議会青森大会が盛大に開催されました。

全国各地から数千名のスポーツ推進委員が集い、満員の会場において、栄えある文部科学大臣表彰を受賞いたしました。

昭和59年に旧新治村体育指導委員に任命されて以降、38年間に渡り微力ながら委員を務めてまいりました。

その間、多くの先輩方や仲間から、恵まれ、支えていただきながら、今日の日を迎えることが出来ましたことは、感無量、万感の喜びであるとともに、この場をお借りして皆様に感謝と御礼を申し上げます。

結びに、本市スポーツ推進委員協議会の益々の発展と皆様方のご健勝、ご活躍をご祈念申し上げます。礼のご挨拶といたします。

全国スポーツ推進委員30年勤続表彰
関東スポーツ推進委員功労者表彰



関山 達朗
(四中地区)

今年度、支えて下さった委員の皆さんや地域の皆様のおかげで、全国大会及び関東大会で表彰されることができ、感謝申し上げますとともにスポーツ推進委員の皆様のご活躍を心よりご祈念申し上げます。

31年間のスポーツ推進委員としての活動に幕を引きたいと思っております。ありがとうございました。

全国スポーツ推進委員
30年勤続表彰



来栖 孝
(新治学園地区)

今回、全国スポーツ推進委員研究協議会30年勤続表彰を受賞できたことは、市関係の方をはじめ、諸先輩、委員の皆様のご指導、ご支援があったからこそと心より感謝申し上げます。

社会体育における地域貢献の精神を忘れることなく、これからも微力ながら励んで参りたいと思っております。

茨城県スポーツ推進委員協議会
10年勤続表彰



名知原 利和
(四中地区)

令和5年5月24日に霞ヶ浦文化体育館にて、表彰を受賞して参りました。これも日頃からお世話になっております「四中地区スポーツ推進委員」の皆様をはじめ、各関係者の御支援の基と思っております。

これからも益々、地域の皆様と共に地域スポーツの活性化に向け頑張っております。今回の受賞につきまして、大変有難うございました。



野口 卓志
(五中地区)

この度、県功労者表彰大変有難うございました。あつという間の10年間。残りの人生地域発展に頑張って行きたいと思っております。



池崎 洋市
(六中地区)

茨城県スポーツ推進委員協議会功労者表彰を受け、より一層身の引き締まる思いでおります。今後も土浦市のスポーツ発展のため尽力して参ります。

令和5年度総会・中央研修会
研修種目は「スポーツテスト」

五中地区 小野 英明

令和5年5月13日（土）、雨天の中土浦市スポーツ推進委員協議会の総会及び中央研修会が土浦第五中学校体育館で開催されました。この総会と研修会は市内8地区の輪番制で行われているもので今年度は、私どもの五中地区が当番となり、開催いたしました。



受付終了後、辞令交付、理事会が行われ総会では今年度の事業計画、予算案が審議可決されました。

中央研修会では「スポーツテスト」を行いました。新型コロナウイルス感染症が5



類に移行してすぐでしたので種目別に分かれることで一応密を避けて行いました。反復横とびや立ち幅とび等の測定を受けてもらいました。皆さん普段の運動不足を痛感しながらも楽しく測定をして、笑いながらもあり、大いに盛り上がりしました。



4年ぶりの懇親会が市内で行われ、8地区のスポーツ推進委員の自己紹介や委員長さんによる地区の紹介等で大いに盛り上がりしました。

最後に今年は新型コロナウイルス感染症の行動制限も緩和され地区でのスポーツ行事も少しずつ再開されると思いますが、再開した行事を通じて地区の人の絆等の社会貢献をしていきたいと思えます。



最後に今年は新型コロナウイルス感染症の行動制限も緩和され地区でのスポーツ行事も少しずつ再開されると思いますが、再開した行事を通じて地区の人の絆等の社会貢献をしていきたいと思えます。

4年ぶりの研修大会に参加して

二中地区 知久 哲也

令和5年度関東スポーツ推進委員研究大会（群馬大会）に6月9日、10日の2日間、土浦市スポーツ推進委員8名と事務局2名で参加してきました。会場となったALSOKぐんま総合スポーツセンターはとも大きく、立派な会場で、少し興奮いたしました。



山委員、誠にありがとうございます。また、分科会では「ポッチャ」などの障がい者スポーツや「モルック」などのニュースポーツと呼ばれる競技が紹介され、とても勉強させていただきました。

私が最後に参加した大会が、4年前の埼玉大会でしたので、参加した皆さんは、久々の研修大会に気持ちも高ぶったことだと思えます。2日間の研修大会は無事終了し、スポーツ推進委員の方々と宿泊やバス中で親睦交流が深まり、有意義な、研修となりました。



コロナ禍でしたが、関東1都8県から多くのスポーツ推進委員が集まり大会テーマである「群雄であれ」にふさわしい沢山の方々が集結しました。

土浦市からは四中地区関山達朗様が「功労者表彰」を受賞されました。関

私も土浦市スポーツ推進委員である限り、色々な研修や研究大会に参加していきたいと思えます。また、研修内容を土浦市民の方々にお伝えし、スポーツの発展、活性化に努めて参ります。

市民体育祭 初めての午前中開催
一 中地区 大川 幸一

第55回土浦第二小学校地区市民体育祭が10月8日、江ヶ崎實大会長の元、コロナ感染症も5類に移行したこともあり、やっと5年ぶりに地区14町内のうち11町内が参加し開催された。

開会式には、参加できない4町内の地区長さん、他役員の皆さんに参加して頂き、地区全14町内揃って挙行できた事は、涙が出るほど嬉しい事であった。また、この様な状況の中、本年度から学校長にご就任された稻生文子校長先生にもご挨拶頂き、地域の皆さんへお顔見せにもなり花を添えて頂いた。

そして初めての試みとして半日開催、従来であれば前日に準備して当日開会式、競技、その間お昼も町内毎で食べて、閉会式、片付け夕方解散、2日がかりのところ、前日の準備も無く当日早朝から準備をして、お昼までに開会式、競技、閉会式、片付けて解散と徹底している。

ここまで漕ぎ着くまでに、準備会を含め実行委員会に於いて協議を重ね、我々事務局よ



り半日での開催案を提示させていただき、それに対し当然であるがお年寄りから就学児前のお子さんまで、競技に参加し尚且つ町内対抗戦で優勝、準優勝、3位と勝敗が決まる、従来の方法で無いと開催する意味がないとの御意見も頂いた。

従来の方法でやりたいのは、我々事務局も内心同じであるが、各町内毎の抱える現状は少子化等により、お子さんの数も減り育成会自体もない町内もあり半日での開催、競技も〇×クイズ・玉手箱・おみやげひろい・当日追加のサプライズ競技としてあんぱん競争・大玉転がし・大綱引き。



〇×クイズは、ほぼ全員参加で賞品争奪に燃えていて、小学生によるあんぱん競争では力があまり全員が全力疾走であった。また、なんと

言っても大綱引きは、町内対抗での白熱の戦いで、各町内とも町内愛が溢れていた。やはり市民体育祭は各町内お子さんからお年寄りまで笑顔で顔を合わせ協力し合う場であり、各町内会二小地区皆さんがもしも災害などに遭われても結束して事にあたる事ができる訓練の場でもなかるうか。

初めての市民体育祭

三 中地区 藤田 太郎

私は令和元年4月に当時の体育協会の役員にさせて頂きました。その年の2月にテレビの取材を受け、漆黒の鳥に匹敵する黒い物質を提供し、6月に放映された際に皆と共に喜べて大変嬉しかったです。

また、その年に放映された大河ドラマ「いだてん」の制作に関わられた方が親しい方だったため興味深く拝見しながら、スポーツ協会の元祖を通してスポーツの裏方の理不尽な苦労やスポーツの素晴らしさを学びました。



役員となつてからは、グラウンドゴルフでは高齢の方の妙技に驚き、未知のスポーツであったポッチャを皆で楽しみ、野球を審判サイドの視点で観る楽しさを知りました。何よりも近所の知り合いも増え毎日が楽しくなってきました。

ただ、その年の中村小学校地区市民体育祭は雨天中止、翌年以降はコロナウィルスの蔓延等により、しばらく開催できずに寂しい思いをしました。

しかし、令和5年5月にコロナウィルス感染症が感染症法上の5類となりコロナ禍もようやくひと段落。今年こそ待ちに待った市民体育祭です。

9月は異例の猛暑が続き、熱中症なども心配されましたが数日前から暑さも落ち着き、当日の朝には希少さから幸運を象徴するとされる逆さ虹も現れたの祝福を受ける中での開催となりました。

各町内会のテントが張られ、皆が揃う姿は圧巻です。袋にボールを入れて運ぶ大黒様リレー、パン食い競争、ラムネ飲み競争、玉入れ、手に汗握る綱引き、年齢別リレーなどの競技が行われ微笑ましい場面などもありながら、いずれの競技も大変白熱しました。

少子高齢化による参加者の減少、半日午前みの開催、教員の働き方改革による各種作業の委託、体育協会からスポーツ協会への名称変更など様々な変化がありながらも、皆様のご協力のおかげで大成功の市民体育祭でした。コロナ禍の頃から思うと多くの方々協力して行う作業でさえもありがたいと実感しました。

今後もスポーツ推進委員として地域の皆様の友好と健康に資する活動に取り組んでまいります。

新たな市民体育祭へのチャレンジ

四中地区 吉田 実

明けましておめでとございます。昨年はコロナの峠も越え様々な行事が再出発しました。私達はこれを期に下高津小学校地区の市民体育祭を一新する事にチャレンジしました。

「障がい者の方々の住みやすい町はみんなが住みやすい町」を念頭に障がい者スポーツだけで行う体育祭を開催しました。障がい者スポーツはコロナ禍でも開催しやすく、お子さんから高齢者まで年齢に関係なく参加する事ができると考えました。また、四中地区スポーツ協会の年間行事で行っている競技でもあり学校や町内会の方々の負担を軽減する事もできました。用具においては茨城県障害者スポーツ・文化協会（水戸市）でお借りする事で予算を抑える事にしました。

午前中開催と言う事で、競技はポッチャ・モルック・アキュラシー（フリスピー）の3種目。各種目で町別対抗戦と一般参加者によるスタンプラリーを行いました。

不安の中いざ開催すると、町別対抗戦（6町内）ではご家族チームと高齢者チームとの微笑ましい対戦や、素晴らしいプレーには町の枠を超えての歓

声や拍手が起きていました。今までの体育祭では目にする事がなかった光景かもしれません。優勝した町は今まで高齢化で参加者を募るのに苦労していましたが、初優勝という事で大変喜ばれていました。

スタンプラリーでは個人優勝を目指し、たくさんの方々に参加していただきました。参加賞を急遽買い足すほどでした。

開催にあたり私たち推進委員にとつて最も嬉しかったのは、地区長の皆様に「次回の市民体育祭も同様の開催をして下さい」とのお言葉を頂いたことです。

地区長の皆様には、私たちにチャレンジさせて頂いたことに大変感謝いたします。

四中地区スポーツ推進委員は、下小地区・二小地区・東小地区の三つの市民体育祭を手分けして行っています。

半数のメンバーが初めての体育祭でした。四中地区スポーツ推進委員のチームワークに感謝・感謝です。メンバーには改めて、今年もよろしくお願いいたします。そして、今年も地域のために頑張るぞー！



市民体育祭を終えて

六中地区 飯島 洋介

10月初旬、私が在籍する大岩田小学校区において、4年ぶりの市民体育祭が開催されました。例年以上に残暑の影響が長引き、秋の訪れも感じられない中での開催となりましたが、怪我人1人出る事なく無事に大会を終えられた事にとっても安堵しています。

開催を決めたのは、7月初旬。まだまだ続くコロナウイルス感染の影響もあり、以前の様な全日開催ではなく半日開催で進める事としました。それ以降我々推進委員では、競技時間の短縮や準備の簡素化等を検討し、国旗掲揚や万国旗、入退場門の設営中止、予選無しの一発勝負への変更等を実施してきました。当日、多少の混乱が発生した事はご容赦いただきたいですが、運営スタッフの皆様や

参加者の協力を得ながら進めていけた事に改めて感謝したいと思います。

さて、肝心の参加者の声ですが、子どもから年配の方まで「楽しかった、数年ぶりに〇〇さんに会

えて嬉しかった。」等、様々なお話を聞きました。そして、毎年恒例種目の綱引きや地区別対抗リレーを初めとした全ての競技が観戦している全員に多くの喜びとパワーを与えた事は間違いありません。

これまで長らく制約や不安な状況が続いてきましたが、本大会では、地域の皆さんが再び顔を合わせ協力されておりました。本大会が、地域の連帯感を強化し、コミュニティ全体が再び団結する一助となったと考えるところは大変嬉しい事だと考えております。

最後になりますが、競技に参加された方の中には筋肉痛に悩まされた方も多くいる事でしょう。そして、観戦された方も運動への意識が高まった事と思います。スポーツ推進委員では、1年を通じて体育祭以外にも多くのイベントを企画しております。是非そろそろにもご参加頂きたいですし、何か良い企画がありましたら、お気軽にスポーツ推進委員までご連絡いただければ幸いです。



スポーツ推進委員として
都和中地区 渡邊 喜世志

今年度より都和地区スポーツ推進委員に委嘱されました渡邊と申します。宜しくお願い致します。

私自身、スポーツをしたり、身体を動かすことはとても好きで、学生時代には運動部に所属し、社会人となり職場の上司に誘われてランニングを始め、それがきっかけで、地元かすみがうらマラソンをはじめ、各地の市民マラソンに参加することで、たくさんのランナーの皆さんに出会い、私自身も貴重な経験をすることができました。現在は適度な運動を心掛け、健康維持に努めています。

さて、最近ではコロナウイルス感染症（以下コロナ）の位置づけの変更ににより、各地域の行事、各種イベント等が従来通りの姿に戻りつつあります。その移り変わりで、私が一番印象深く感じたのは、令和5年度、夏の全国高等学校野球選手権大会です。

4年前はコロナの影響により大会が中止、翌年は無観客での開催、その後も声を出しての応援にまだ規制がかかったままでした。そして、今年のアルプススタンドには超満員の観客、各校プラスバンドの大演奏とたくさんの声

援が甲子園球場に響き渡り、従来の歓声に戻ってきました。また、本県代表の地元、土浦日本大学高等学校が数々の強豪との激闘を制し、準決勝進出という快挙を成し遂げたこともあり、スポーツの影響力、素晴らしさを改めて実感致しました。

地域スポーツにおいても、各地域でコロナ前のスポーツイベント等が開催される傾向にあります。まだまだコロナが終息には至らない状況です。

地域住民の意見は賛否両論であるのは致し方ない事であり、今後、地域スポーツの課題は、感染対策に引き続き十分に配慮し、その地域性にあつた行事やイベント等を今までは少し違つた観点で捉えながら工夫を重ねることで、少しでも多くの地域住民が安心して参加できる新しい形式を見出して行くことが大切なこととあります。

私達スポーツ推進委員は地域スポーツの発展と地域住民の健康増進を目的とし、さらには、良

き地域交流の場としてスポーツイベント等を考案し、地域へ発信できる活動を目指して努力していきます。



4年ぶりの市民体育祭
新治学園地区 酒井 克之

令和5年10月8日（日）4年ぶりに新治学園義務教育学校グラウンドに於いて新治学園地区市民体育祭が開催されました。

開催にあたり、新治学園地区スポーツ協会、新治学園地区市民委員会スポーツ健康部、新治学園地区スポーツ推進委員共催の合同会議を経て、当日を迎えました。

コロナ禍前の競技種目、田宮ばやし保存会の皆様による「田宮ばやし」で始まり、老若男女参加の「新治音頭」で盛り上がりました。



いよいよ演技種目の「親子玉入れ」が始まりました。次にスポーツ少年団の「出前一丁」と、今回はスポーツ少年団の団員と保護者の皆様方、一部地区の皆様方も積極的にご参加いただきました。

演技種目も終



盤戦に入り「野菜採りリレー」は、カリーの具材をテーマに野菜を景品として並べました。

次に「奥様は大忙し」で日頃のストレスを発散すべく演目で非常に会場が大盛り上がりでした。

そして最終演目「じゃんけん大会」これは、本日の参加者並びに会場に来られた皆様方全員参加による演目で、賞品も自転車で体育祭終了後、自転車に乗車して、お帰りいただく、パフォーマンス付きです。今回の体育祭は、コロナが第5類になり初めての開催で地域の皆様方の参加者が少なめでした。



今回は、地域の皆様方が積極的に参加できる演技種目を取り入れ、今後コロナ禍前の状況になるのは、まだまだですが、地域の皆様方の体力増進とコミュニケーションの場として、微力ながら務めていきたいと思っております。

次回、地域の皆様方が積極的に参加できる演技種目を取り入れ、今後コロナ禍前の状況になるのは、まだまだですが、地域の皆様方の体力増進とコミュニケーションの場として、微力ながら務めていきたいと思っております。



新任委員紹介

よろしくお願いたします。



令和6年度 事業計画

- 4月21日【川口運動公園】
第34回かすみがうらマラソン兼国際ブラインドマラソン
- 5月上旬【六中地区】
土浦市スポーツ推進委員協議会総会・中央研修会
- 5月上旬【場所未定】
茨城県スポーツ推進委員協議会理事会・総会・功労者表彰
- 5月下旬【場所未定】
県南スポーツ推進委員協議会理事会・総会
- 6月7・8日【千葉県成田市】
関東スポーツ推進委員研究大会千葉大会
- 11月14・15日【宮崎県宮崎市】
全国スポーツ推進委員研究協議会宮崎大会
- 1月中旬【場所未定】
土浦市スポーツ推進委員協議会理事会・新春の集い
- 2月下旬【場所未定】
茨城県スポーツ推進委員協議会研修会
- 日付・場所未定
県南スポーツ推進委員協議会地区別研修会

土浦市スポーツ推進委員名簿

◎会長 ○副会長

清水裕美	口田雅也	坂寄弘和	飯塚健太郎	町田幸生	嶋田文江	◎知久哲也	二中地区	内藤歩	石塚智康	鈴木亮	大森利浩	熊井祥之	石原宏紀	大川幸一	小林まゆみ	古徳洋一	◎鈴木清	中根浩	一中地区
小林豊	田中義法	名知原利和	以後崎照	芝原秀記	那珂伸一	吉田実	四中地区	金澤みゆき	藤田太郎	平野篤	仕黒弘志	中村宏幸	佐々木健博	小林薫	保坂進	的場淳	土田實	横張一樹	三中地区
池田純	縄野昌紀	武田光子	中嶋洋	池崎洋市	佐藤均	小口範男	六中地区	清水和代	鈴木夏子	篠田恵一	八尾慶太	小野英明	藤井輝夫	山口栄一	野口卓志	五中地区	野口貴代	小島雄輔	臼田周平
郡司紀文	渡邊賢樹	内海裕治	金子泰也	須藤隆	北野善彦	来栖孝	酒井克之	新治学園地区	北谷義貴	藤田久樹	竹内靖揮	窪田智	富島進	栗山良一	原市代	○渡邊喜世志	都和中地区	坂本敦史	飯島洋介

令和5・6年度 広報部会員

- 部会長 知久 哲也 (二中地区)
- 副部会長 以後崎 照 (四中地区)
- 石原 宏紀 (一中地区)
- 会 計 野口 卓志 (五中地区)
- 委 員 内藤 歩 (一中地区)
- 町田 幸生 (二中地区)
- 中村 宏幸 (三中地区)
- 金澤みゆき (三中地区)
- 野口 貴代 (四中地区)
- 小野 英明 (五中地区)
- 飯島 洋介 (六中地区)
- 坂本 敦史 (六中地区)
- 富島 進 (都和中地区)
- 竹内 靖揮 (都和中地区)
- 酒井 克之 (新治学園地区)
- 金子 泰也 (新治学園地区)

編集後記

(担当:五中地区)

委員の皆様のご協力により、ここに「さわやか土浦」第13号を発刊することに至り、皆様に心より感謝致します。

コロナ禍で止まってしまっていた各地区の行事・イベントなど、徐々に再開しております。

これからも、本市の地域スポーツの発展に努めていき、より充実した広報誌をお届けできますよう皆様のご協力をお願い致します。

